

日進通商株式会社

りんご 

## (1) 中国

米国向けりんご果汁の輸出価格は大幅に上昇しており、US\$1,760 - 1,900/MT 東海岸着値(昨年よりも約7%増)、海上運賃の影響が大きい。

国内の繰越在庫も少ないが、スポット的にはサプライヤーによっては供給が可能。

## (2) ヨーロッパ

ポーランド： 遅霜の影響がなかった為、加工業者はりんごの搾汁を再開しております。保管用の冷蔵庫にある大量のりんごの在庫を減らすため、NFC製造のみならず濃縮果汁の製造に移行している模様。

トルコ： トルコのりんご生産量は、良好な生育条件に伴い、430万トンの見通し、加工用の果汁は、好調な売れ行きでほぼ完売状態。

## (3) 南米ブラジル

りんごのオフシーズンが終了、果汁製造もほぼ終了。新型コロナの影響で労働力不足が今後も問題。

## (4) 南米チリ

2月の豪雨の影響か、りんごの生産量は減少しております。チリではオーガニックりんごの生産を増やしているとの事。

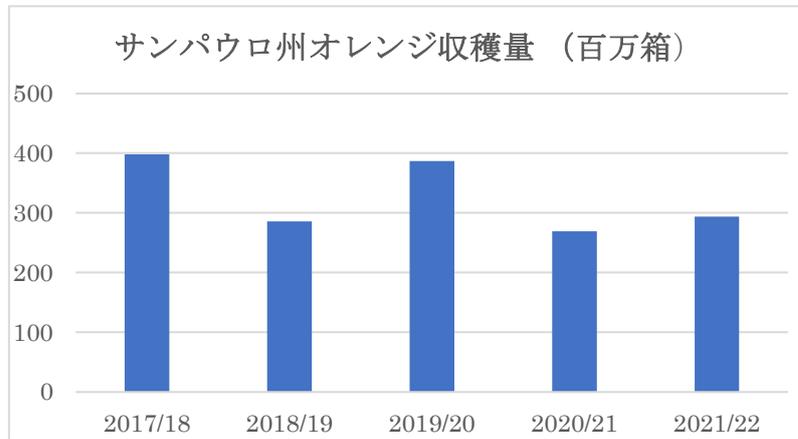
## (5) 南アフリカ

りんご果汁の製造はほぼ終了。西ケープ地区では干ばつの影響もありりんごの生産量は減少傾向です。ピンクレディー、グラニースミスなどの酸度の比較的高いりんごは生食として人気があります。りんご農園では太平洋諸島からの季節労働者が不足しており、厳しい状況が続いている。

## 柑橘オレンジ

ブラジル：

Fundecitrus から 2021/22 におけるオレンジ収穫量は 294 百万箱と対前年比 10%増と予想されてますが、ここ 10 年間の平均収穫量の 3.5 億箱には遠く及びません。



夏場の雨不足とこれから冬場に向かい乾季シーズンとなり雨量は期待できず。そのため果実が小ぶりだとえ 10 月に雨が降ってもフルーツは水分を吸収できず、ひび割れなども起き落下する可能性もあります。ハムリン種は 7 月～8 月に始まりますが、糖酸比が 14～16 になるのは 10 月頃と思われます。

良いニュースとしては、このコロナ禍のパンデミックのさなか欧米では朝食にオレンジ果汁を飲む習慣が戻り、これからコロナが収束すると学校はじめフードサービスなども元に戻り需要が少し上向く。

米 国： コロナ禍でのオレンジ需要の為、ブラジル、メキシコより NFC を輸入。  
2021/22 は良好な開花を迎えているようで、収穫も増産が期待される。

メキシコ： 2021年の1月～春先にかけて大量のNFCオレンジ果汁を米国に輸出。  
果汁の国内消費量及び輸出量は増加。

## グレープフルーツ 🍇

米 国： 米国の 2020/21 グレープフルーツの生産量は 443,000 トンと少なく  
(22%減少)、フロリダでは 179,000 トンと対前年に対しても 13%減少

南アフリカ： フロリダの不作を受け、果汁の輸出は好調で赤系、白系ともに増加。  
懸念材料としてはコロナの影響で労働力が不足。

## ブドウ

### (1)米 国

2020/21年のWELCHコンコードグレープの収穫量は減産のため価格が高騰するも、内需のおかげで比較的販売は好調。

次期クロープ 2021/22年の収穫予想は8月頃には確定するもよう。今のところ天候不順もなく、順調に生育すれば昨年よりも収穫量は増える見込み。

シアトルタコマも輸出用のコンテナが全体的に不足しており、海上運賃も上昇し価格に影響がでている。

### (2)南 米

#### ブラジル

2021年クロープは順調に終了。北米のコンコードブドウが不作だった為に安価なブラジル産の赤系グレープ果汁の輸出はアメリカ、中国向けが好調。日本向けの供給は安定。

#### アルゼンチン ホワイトグレープ

2021年クロープは終了。数年の不作続きで(去年の10月の霜被害)価格は上昇、果汁の繰越在庫は限られるも、ワインの消費量が世界的に伸び、ワイン輸出は好調。

#### チリ

2021年クロープは終了。大雨の被害もあり、価格上昇、輸出が減少。

### (3) ヨーロッパ

#### スペイン

スペインの2020年のホワイト・レッドグレープともに冬場の降雨量にも恵まれ、品質も良好で収穫量も増加。アルゼンチン産のホワイトグレープが不作であった為、スペイン産のホワイトグレープ果汁の需要は高まっている。

### (4)オーストラリア

2020/21年のマスカットぶどうの生産量は順調で、品質も良好なぶどうが多く収穫された。数年前から中国向けの赤ワインの需要が高まり、ワイン品種を増産する農家が増えている。

## レモン

### アルゼンチン

2021年収穫は3月から始まっていますが、昨年の6月の雨量不足と高温により、前年より44万トン減少し、約103万トンと予想されます。このうち加工には約73万トンが仕向けられます。アルゼンチンの生果の輸出量は約19万トンと昨年よりも25%減少します。

### スペイン

:

オーガニックレモンの生産地域が拡大しており、2012年に比べ4倍増で昨年までには8,300haまで増えております。加工製造数量は172,640トンであり、レモン果汁の全生産量の14%にあたります。主な産地は地中海沿いのAndalusia州が40%、他にはMucia州、Valencia州が続きます。

## パインナップル

### タイ

今年のサマータイムのパイン果汁製造は6月末には終了し、次期ウィンターシーズンが始まる11月・12月上旬までは工場内の定期修理等が行われます。

プラチャブ社は特に原料の品質にこだわり、未熟果実は使用しない為、果汁としての品質も高く評価されます。7月～10月は原料のオフシーズンです。また工場はミャンマーとの国境に近く、多くの労働者が必要とされますが、事態は厳しく冬場も労働力不足が懸念され、原料価格が下がる事はないとの事。

### インドネシア

長期の干ばつにより前年よりも収穫量は減少しているものの、タイ国が不作の為、北米・ヨーロッパ向けの輸出は好調です。

### 中米コスタリカ

パインナップル果汁はシーズン中ですが、収穫量が減少しており十分なフルーツがないため、主にNFC加工にまわされ価格はFOB US\$850/mt、濃縮果汁の相場はFOB US\$2,400/mtです。

## マンゴ

インドのアルフォンソマンゴは5月から高騰しています。5月20日過ぎUS\$440/MTから6月に入り現在はUS\$575/MTまで上昇しています。100%ピュアレのトップ品質はUS\$1,350からUS\$1,600/MTまで上昇しております。

## カリフォルニアピーチ

主要産地はサンノアキンバレーの北部のユバシティ、中部のモデスト、南のキングスバーク、加工工場のあるベーカーズフィールドは最南端。

今年の桃のサイズは少しこぶりと予想。穏やかな天候に恵まれたために、開花時期がタイムリーで、クリングストーンは3月7日に開花し(昨年より4日遅い)、フリーストーンもスムーズな開花であり、雨不足と乾燥にそなえ農家は灌漑を例年よりも早めに行っている。

カリフォルニア州	クリングストーン	フリーストーン	合計(トン)
2017	272,000	304,000	576,000
2018	247,000	232,000	479,000
2019	264,000	234,000	498,000
2020	250,000	218,000	468,000
2021	240,000	240,000	480,000

カリフォルニアのクリングストーンピーチ(缶詰用)の原料価格はCCPA(カリフォルニアピーチ缶詰協会)の報告によりますと、US\$470/トンとUS\$20.50/トン高くなっており、収穫量は昨年の出荷ベースよりも少し上昇、また歩留まりとしてもエーカー当たり今年16.6トンと昨年15.4トンから上昇。

フリーストーンピーチ(果汁向き)の収穫予想は24万トンで前年対比9%増が見込まれておりますが、果汁の原料価格は上昇傾向です。